

宜健増第 308 号
令和 2 年 7 月 17 日

沖縄県知事 玉城 康裕 様

宜野湾市長 松川 正則

普天間飛行場内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
の取組等について（要請）

普天間飛行場内における新型コロナウイルス感染症の感染者が、令和 2 年 7 月 16 日までの県の発表によると、73 名であることが判明した。

本市においては、これまでも沖縄県をはじめ、市民の皆様とも一丸となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためマスク着用、手指消毒及び 3 密を避けること等の感染予防策を徹底するとともに、新しい生活様式の定着に取り組んできた。その中、普天間飛行場を含む米軍施設にて、集団感染が発生したことは大変遺憾である。

また、普天間飛行場内での感染者増加を受け、市民からは感染を危惧する声や他市町村から市民の来訪を断られた声などが本市にも寄せられている。

このような事態は普天間飛行場及び海軍病院が存在し、在沖米軍に係る新型コロナウイルス感染者が増加しているためであり、市民の不安解消を図り、安全及び平穏な生活を守る立場から下記の事項について、要請する。

記

- 一、市民及び市内で働く方で米軍関係者と接触があったとみられる人などを対象に、PCR 検査を実施すること。
- 一、市民の不安解消を図るため、感染症に関する情報を速やかに公表すること。
- 一、県と市が感染症拡大防止対策に適切に取り組むため、米軍と沖縄県で共有される情報を適切に提供すること。